

# Reports View

AirMagnet Surveyでは、「Display」ビューに表示されたサーベイデータをさまざまなデータレポートに自動的に変換し、「Reports」ビューから表示、印刷、配布することができます。

レポートビューには、ナビゲーションバー  **Reports** をクリックしてアクセスできます。

**Note:** データレポートを表示するには、「Display」ビューでデータファイルを開き、レポートリストからオプションを選択する必要があります。

チャプタ:

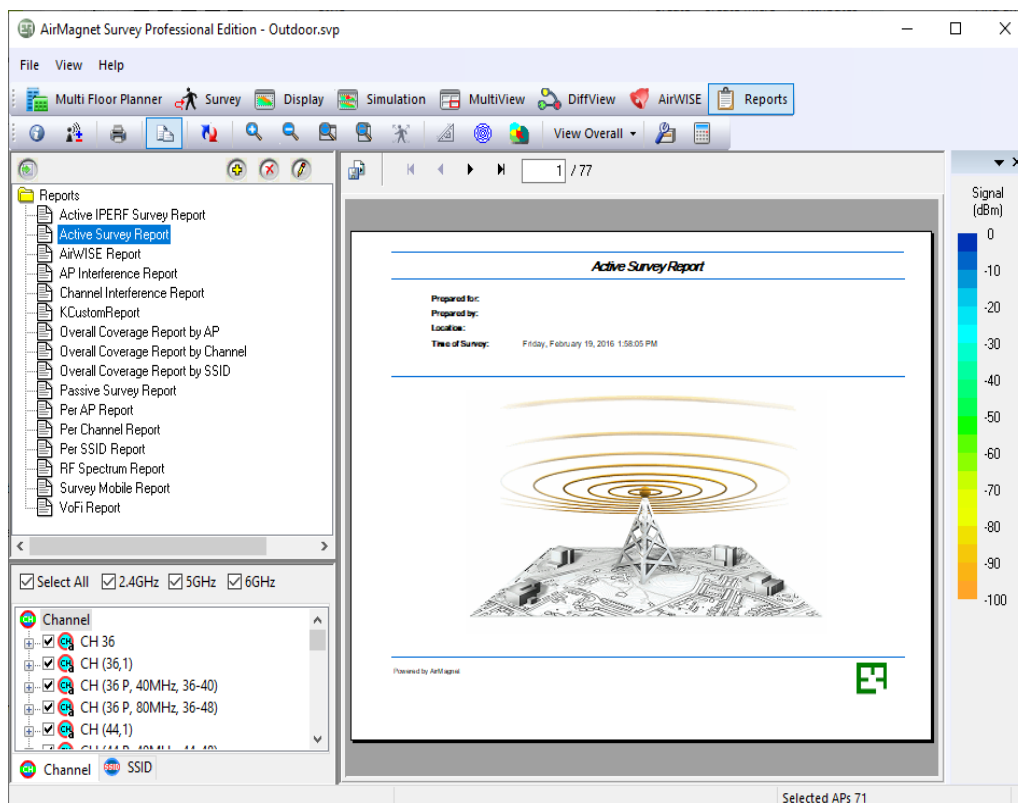
Reportsの紹介 .....	205
File Menu .....	206
View Menu .....	206
レポートテンプレートリスト .....	206
レポートテンプレートのカスタマイズ .....	207
General information タブ .....	208
レポートの翻訳 .....	209
Channel/SSID Tree .....	209
Report Window .....	210
Toolbar .....	211
サーベイデータレポートの表示 .....	212
レポートの印刷 .....	212
レポートのエクスポート .....	212

## Reportsの紹介

レポート機能を使用すると、**Display**ビューで選択したデータファイルに基づいてレポートを生成できます。事前に設定された様々なレポートが利用可能です。以下のオプションにより、レポートをカスタマイズすることができます。

- ・ セクションの追加または削除して、既存のレポートを編集可能。
- ・ レポートを複製し、複製の修正が可能。
- ・ 空白のレポートから開始し、必要なセクションを追加可能。
- ・ 見出しやセクションの内容を修正可能。
- ・ レポートを英語、ドイツ語、フランス語、アラビア語、ロシア語、日本語のいずれかの言語に自動的にローカライズします。翻訳されたテキストを手動で修正することもできます。
- ・ タイトルページのグラフィックをカスタマイズ可能。
- ・ 表紙、目次、ヘッダー、フッター、ページ番号、各セクションのタイトルとコンテキストを表示/非表示にカスタマイズできます。

ナビゲーションバーの「**Reports**」をクリックすると、レポートビューにアクセスできます。レポートを生成するには、任意のレポートをダブルクリックします。レポートがメインビューに表示されます。



**注:** レポート生成時、日本語は一部文字化けします。その場合、レポートビュー左上の「Export report」からExcelまたはMS Wordでエクスポート後にPDFでエクスポートする必要があります。

## File Menu

レポートファイルメニューには、サーベイデータレポートの管理と配布に役立つオプションがあります。

オプション	項目
Report configuration...	レポートテンプレートマネージャーの「General Information」タブを開き、ロゴ、フッター、場所など、レポートの要素を変更できます。
ACL...	「ACL (Access Control List)」ウィンドウを開き、ACLテーブルにAPを追加したり、ACLテーブルからAPを削除したりすることができます。この機能により、サーベイ中に検出されたアクセスポイントを、管理するアクセスポイント (ACL) と管理しないアクセスポイントに分類することができます。非ACLアクセスポイントには、近隣企業のアクセスポイントや不正アクセスポイントが含まれます。 「Add...」をクリックすると、サーベイに含まれるアクセスポイントのリストが表示されます。ACLに含めたいAPをチェックし、OKをクリックします。ACL機能が使用されている場合、レポートはAPをこれら2つのグループにソートします。
Print...	現在のレポートを印刷します。
Print Setup...	現在のレポートの印刷設定を変更します。

## View Menu

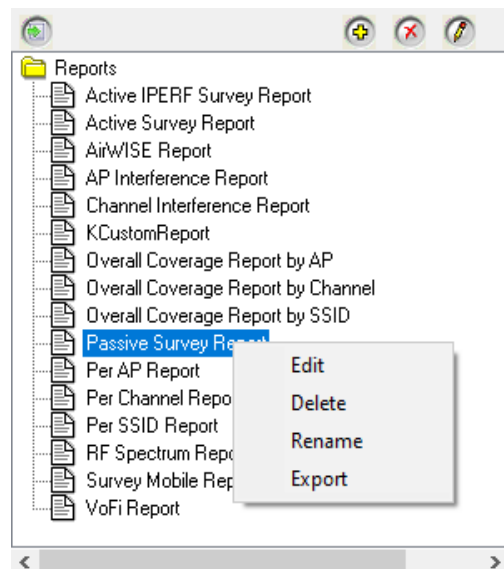
「Reports」ビューの「View」メニューには、追加オプションがあります：

**Landscape Orientation:** レポートの向きを縦向きから横向きに切り替えます。横向きにしたレポートは、「Landscape Orientation」の選択を解除することで縦向きに戻すことができます。


## レポートテンプレートリスト



レポートリストには、レポートテンプレートが表示されます。各テンプレートは、レポートのタイトルに関連するトピックを含むレポートを生成するように事前に設定されています (例: Passive Survey Report)。ただし、ニーズに合わせてレポートを完全にカスタマイズすることもできます。

**Note:** レポートは「Display」ビューで選択されたデータファイルに基づいています。したがって、レポートにはそのデータファイルに含まれるデータのみが含まれます。たとえば、関連するデータファイルに VoFi サーベイが含まれていない場合、レポートに VoFi 情報を含めることはできません。



レポートリストでは、以下のアクションが利用可能です：

項目	説明
 または、「Reports」フォルダを右クリックし、New Custom Report Templateを選択	新しい空のテンプレートを追加するか、既存のテンプレートをコピーします。テンプレートの名前を入力します。空のテンプレートの場合は「none」を選択し、テンプレートの複製を作成する場合はドロップダウンからリストを選択します。次にOKをクリックします。

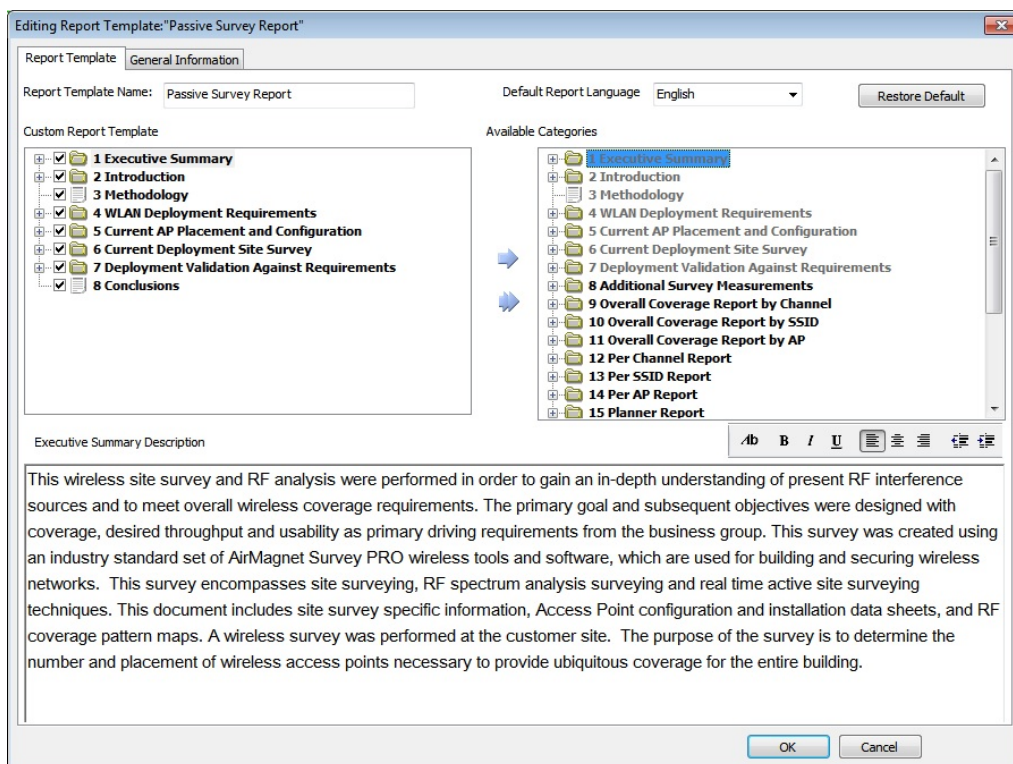
 または、テンプレートを右クリックし、 <b>Edit</b> を選択	選択したテンプレートを編集します。
 または、テンプレートを右クリックし、 <b>Delete</b> を選択	選択したテンプレートを削除します。一度削除したテンプレートは、製品を再インストールしない限り復元できません。
右クリックし、 <b>Rename</b> を選択	選択したテンプレートの名前を変更します。
右クリックし、 <b>Export</b> を選択	ファイルウィンドウが開き、選択したテンプレートを ZIP 形式でエクスポートするフォルダーを選択できます。
<b>Import</b>	「Reports」フォルダを右クリックし、 <b>Import Custom Report Template</b> を選択し、目的のZIPファイルを参照します。「開く」をクリックします。

## レポートテンプレートのカスタマイズ

レポートテンプレートの編集または作成を選択すると(「[レポートリスト](#)」を参照)、

「**Create Custom Report Template**」マネージャが開き、「**Report Template**」タブが表示されます。

- 「**Create Custom Report Template**」を選択した場合、マネージャの左側は空白です。これにより、利用可能なカテゴリセクションから必要なセクションを追加してテンプレートを構築することができます。
- テンプレートの編集を選択した場合、マネージャの左側にはテンプレートタイトルに関連する設定済みのセクションが表示されます。左側の「Custom Report Template」エリアから不要なセクションを削除したり、利用可能なカテゴリリストからセクションを追加したりすることができます。



- レポートからセクションを削除するには、カスタム レポート テンプレート ツリーを展開して目的のセクションを見つけ、セクションを選択します。右向きの矢印をクリックして、セクションを使用可能なカテゴリに移動します。
- レポートにセクションを追加するには、「**Available Categorized**」ツリーを展開して目的のセクションを見つけ、セクションを選択します。左向きの矢印をクリックして、セクションを「**Custom Report Template**」に移動します。
- セクションに関連付けられたデフォルトの説明テキストを変更することもできます。「**Custom Report Template**」ツリーでセクションを選択します。下部の説明領域にテキストが表示されます。テキストを修正します。
- OK**をクリックして変更を保存します。

## General information タブ

「General Information」タブをクリックして、サーベイタイトル、サーベイ者名、サーベイ場所、カスタムレポートヘッダーとフッターなどの情報をカスタマイズします。

このタブには、追加の翻訳機能を有効にする「Translation」ボタンも含まれています。「[レポートの翻訳](#)」を参照してください。

The screenshot shows a software window titled "Editing Report Template: Active IPERF Survey Report". It has two tabs: "Report Template" and "General Information". The "General Information" tab is selected. On the left, there are input fields for "Survey Title", "Surveyor Name", "Location", "Company", "Date" (with a "Calendar" button), "Cover Sheet Picture" (with a "Browse..." button), and "Corporate Logo" (with a "Browse..." button). Below these is a "Zoom: 25.50%" label and a small image of a survey site. There is also a "Translation" button. On the right, there is a text box with instructions: "If no results are found in the project for a report template category, that category will have the message 'Results for this section were not part of the survey'. To remove a category from appearing in the report, uncheck it in Report Template tab." Below this is a "Cover Sheet" section with checkboxes for "Include Cover Sheet" (checked) and "Include Data Filename" (unchecked), and a "Preview Cover Sheet" button. At the bottom right, there are checkboxes for "Include Table of Contents", "Include Section Headers and Text", "Include Page Headers/Footers", and "Include Page Numbers". There are also input fields for "Report Page Header:" and "Report Page Footer:". At the very bottom are "OK" and "Cancel" buttons.

必要なプロパティを変更した後、「**Preview Cover Sheet** (カバーシートのプレビュー)」をクリックすると、ウィンドウの右側部分でレポートのカバーシートのサンプルをプレビューできます。以下の表では、カスタマイズ可能なフィールドについて説明しています。

フィールド	項目
<b>Survey Title</b>	サーベイのタイトルです。これはテンプレートの名前とは異なり、サーベイタイトルはレポート自体の表紙に印刷されることに注意してください。
<b>Surveyor Name</b>	サーベイを実施した人の名前。
<b>Location</b>	サーベイを実施した場所。
<b>Company</b>	サーベイを実施した企業。
<b>Date</b>	サーベイの実施日。
<b>Cover Sheet Picture</b>	完成したレポートの表紙に表示される画像。推奨サイズは幅 650 x 高さ 400 ピクセルです。この画像はすべてのレポートの表紙に表示されます。BMP、JPG、PNG、GIFに対応しています。画像を参照する際は、ドロップダウンから希望する正しい画像タイプを選択してください。
<b>Corporate Logo</b>	必要に応じて、表紙の右下隅に表示されるロゴを指定できます。推奨サイズは 幅 164 x 高さ 164 ピクセルです。この画像はすべてのレポートの表紙に表示されます。BMP、JPG、PNG、GIFに対応しています。画像を参照する際は、ドロップダウンから希望する正しい画像タイプを選択してください。
<b>Individual Distribution</b>	このオプションを使用すると、各ヒートマップ表示で限られた数の AP をレポートに表示させることができます。この方法で、1 ページあたりの表示デバイス数を減らし、各 AP のカバーレッジエリアをよりよく把握することができます。このメカニズムは、レポートに表示されるヒートマップの一部またはすべてに対して有効にすることができます。
<b>Translation</b>	レポートテキストを任意の言語にローカライズできるようにします。「 <a href="#">レポートの翻訳</a> 」を参照。
<b>Report Page Header &amp; Footer</b>	必要に応じて、レポートのヘッダーとフッター部分に表示するテキストを入力することができます。これは、すべてのレポートに表示されるデフォルトのページ番号に加えて表示されます。

Include Cover Page, Data Filename, Table of Contents, Section Headers and Text, Page Headers/Footers, and Page Number

レポートのさまざまな部分を含めたり非表示にしたりするには、対応するボックスにチェックを入れます。

## レポートの翻訳

レポートテンプレートマネージャーには、レポートを目的の言語にローカライズできるようにするためのオプションがいくつか用意されています。

デフォルトでは、Windowsの「表示言語」設定が表示されるため、この点での翻訳とはテキストの編集を指します。

**Note:** テンプレートを変更する前に、まずレポートテンプレートを複製し、ファイル名に目的の言語を含めることを推奨します(例: Passive Survey (ドイツ語))。

- **Default Report Language:** 「Report Template」タブにあるこのドロップダウンにより、以下の言語でレポートテキストを表示できます: 英語、ドイツ語、フランス語、アラビア語、ロシア語、日本語です。ドロップダウンから言語オプションを選択した後、テンプレートマネージャの「Custom Report Template」エリアにあるセクションにその言語が適用されます。
- **Manually edit any text:** セクションを選択し、テキストエディタエリア(テンプレートマネージャの下部)に表示されるテキストを編集することで、任意のセクションのテキストを手動で編集することができます。
- **Manually edit any header text (category headers):** テンプレートマネージャの「Custom Report Template」エリアで見出しを右クリックします。「Rename」を選択し、必要なテキストを入力します。
- **Incidental items on the report pages:** さらに、レポートには上記の方法には含まれない付随的なテキストがあります。「General Information」タブで「Translation」をクリックします。右の列のフィールドを使用して、左の列の項目を希望の言語に翻訳します。

**注:** レポート生成時、日本語は一部文字化けします。その場合、レポートビュー左上の「Export report」からExcelまたはMS Wordでエクスポート後にPDFでエクスポートする必要があります。

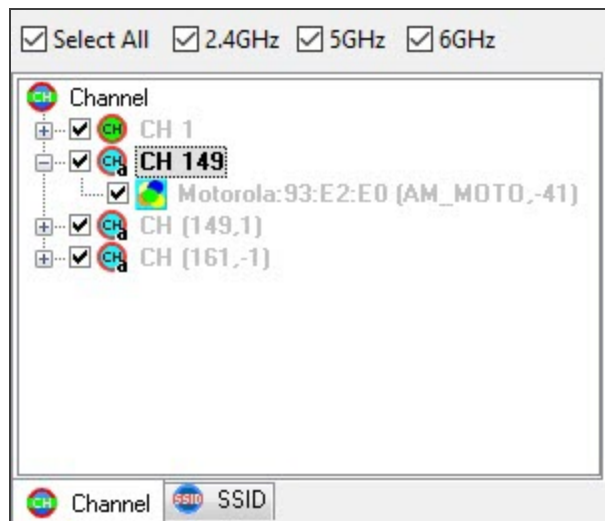
翻訳が完了したら、OKをクリックして変更を保存し、レポートテンプレートマネージャーを閉じます。

## Channel/SSID Tree

「Report」ビューのこの部分では、レポートの内容を調整できます。一般的に、レポートはチャンネル別またはSSID別に表示できます。



Channel SSID クリックすることで、この 2 つを切り替えることができます。下の画像は、各利用可能なチャンネル上のすべての AP と、各 AP の SSID および最大 RF 信号レベルを示しています。

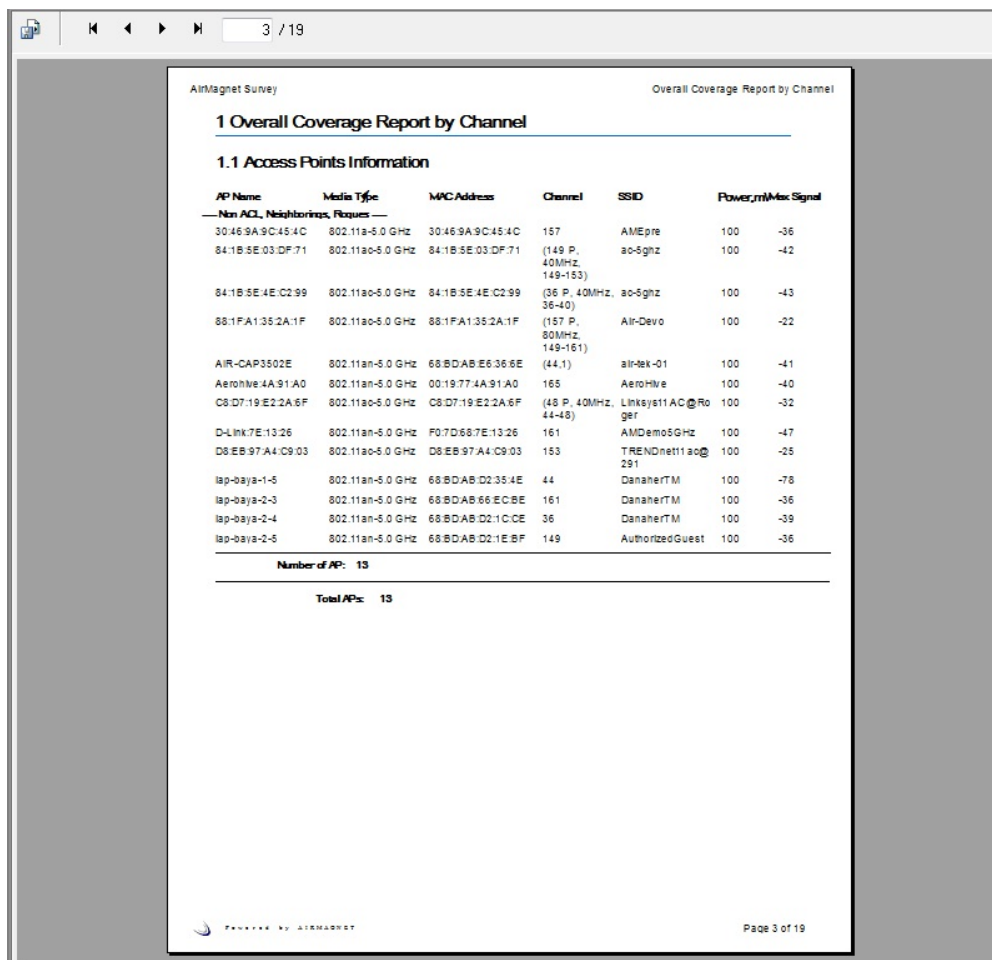


上に見られるように、チャンネル/SSID ツリーの上にはチェックボックスがあります：

- **Select All:** この機能により、ボタンをクリックするだけで Channel/SSID ツリー上の全てのエントリを選択または選択解除することができます。デフォルトでは、レポートビューが開くと、Channels/SSID Tree の全てのエントリが選択されています。このボタンを使用してすべてのエントリの選択を解除し、興味のあるエントリだけを手動で選択することをお勧めします。こうすることで、選択したデバイスに関するデータを使用して、サーベイデータレポートをカスタマイズできます。
- **2.4 GHz:** このチェックボックスでは、2.4 GHz 帯域のチャンネルのみが選択されます。
- **5 GHz:** このチェックボックスでは、5 GHz 帯域のチャンネルのみが選択されます。
- **6 GHz:** このチェックボックスでは、6 GHz 帯域のチャンネルのみが選択されます。

## Report Window

レポートウィンドウは、レポートリストとChannel/SSID ツリーで選択されたオプションに基づいてレポートを表示します。レポートウィンドウの上部には多数のツールがあります。以下に説明するように、これらはサーベイデータレポートの表示と共有のために特別に設計されています。












アイコン	名称	説明
	Export	「Report Export」ダイアログボックスが表示され、現在のレポートを選択した形式で特定の宛先にエクスポートできます。
	To First Page	現在のレポートの先頭ページに移動できます。
	Back	レポートの前のページに戻ることができます。
	Page Count	現在のレポートの表示中ページとページ総数を表示します。 <b>Note:</b> 現在のページ番号をハイライトし、目的のページ番号を入力してキーボードのEnterキーを押すことで、レポート内の特定のページに直接移動することができます。
	Forward	レポートの次のページに移動できます。
	To Last Page	現在のレポートの最終ページに移動できます。

## Toolbar


ツールバーには、レポートの表示と印刷によく使用されるツールが含まれています。これらのツールのほとんどは、ビューの「File」メニューまたは「View」メニューにあるオプションと同じです。



アイコン	名称	説明
	Zoom In	現在表示されているレポートのサイズを拡大します。
	Zoom Out	現在表示されているレポートのサイズを縮小します。
	Zoom to Fit	現在のレポートをレポートウィンドウのサイズに合わせる。
	Actual Size	現在のレポートを実際の印刷サイズに戻します。
	Refresh Report	現在のレポートのデータを更新します。
	Report Information	「Report Config」ビューが開き、生成されるレポートに表示される情報を指定または変更できます。
	ACL	「ACL」ウィンドウが開き、ACLテーブルから AP を追加または削除できます。
	Landscape	ビュー上のレポートの方向を縦方向（デフォルト）と横方向を切り替えることができます。
	Print	現在のレポートを印刷できます。

## サーベイデータレポートの表示


サーベイデータレポートを表示する手順は以下のとおりです：

1. 「Display」ビューで、サーベイデータファイルを開きます。
2. ナビゲーションバーから、 **Reports** をクリックするとレポートビューが表示されます。
3. レポートリストから任意のレポートを選択します。
4. **Channel/SSID** ツリーから、Channel または SSID タブをクリックします。
5. ビューのコントロールを使用して、表示オプションを調整します。

レポートに表示されるヒートマップの色は、モニターの表示設定に多少依存します。

## レポートの印刷


サーベイデータのレポートを印刷するには：


1. レポートリストウィンドウから任意のレポートをダブルクリックしてレポートを開きます。
2.  (**Print Report**) をクリックします。印刷ビューが表示されます。
3. 印刷ビューに表示されているように任意の選択または入力し、「OK」をクリックします。

## レポートのエクスポート

レポートは、特定の電子ファイル形式で、さまざまな宛先にエクスポートできます。これにより、サーベイデータの共有とバックアップが簡単に可能になります。

サーベイデータのレポートをエクスポートするには：

1. 必要に応じて、**Channel/SSID** ツリーを使用してレポートをカスタマイズします。
2. レポートリストウィンドウから任意のレポートをダブルクリックします。
3. レポート表示後、 (**Export Report**) をクリックします。「Report Export」ビューが表示されます。

4. 「Format」の下矢印をクリックし、ドロップダウンリストからファイル形式を選択します。
5.  をクリックし、エクスポートするファイルの保存先を選択します。
6. 「OK」をクリックします。「Exporting Records」ダイアログボックスが表示されます。

**Note:** ステップ 5で選択したオプションに応じて、レポートをディスクドライブにエクスポートしたり、電子メールの添付ファイルとして送信したりできます。レポートをサポートするアプリケーション(ファイル形式)がある場合、選択した形式でレポートを開いて表示できます。